

漁業後継者育成研修事業

吉田 秀雄*・小笠原 大郎

目 的

漁業者の減少と高齢化が進行し漁業後継者が不足していることから、本県水産業の維持・発展を図るため、短期研修（通称「賓陽塾」）を実施し、優れた漁業者を確保・育成する。

研修結果

1 通常研修

漁業に就業して間もない人、漁業への就業を希望している人を対象に、基礎的な漁業技術・知識習得のため実施した。

- (1) 研修期間 平成 20 年 5 月 14 日～同年 7 月 31 日（休日を除く毎日計 56 日間）
- (2) 受講生 毎日受講する研修生 15 名、希望科目のみ受講する聴講生 15 名の計 30 名であった。
研修生の出身内訳は平内町 13 名、野辺地町 1 名、深浦町 1 名であった。
聴講生の出身地は平内町であった。
- (3) 修了生 全開講日数の半分以上を出席した者に修了証書を授与した。
修了生は 8 名で、出身内訳は平内町 7 名、深浦町 1 名であった。
- (4) 研修内容 講義は研修棟学習室で、実習は陸奥湾海上及び工作室で実施した。
 - ・講 義 水産に関する基礎知識、漁業関係法令・制度、水難救助など(表 1)
 - ・実 習 沿岸漁業(さし網、籠、釣り)、ロープワーク、漁具補修(表 2)
 - ・視察研修 水産関連施設及び水産試験研究機関(表 3)

2 選択研修

漁業への就業に必要とされる資格の取得、技術等のレベルアップのため実施した。なお、第三級海上特殊無線技士資格取得講習及び現地漁業実習は、受講希望者がいないことから、実施しなかった。

- ・資格取得講習 二級小型船舶操縦士の資格取得講習を実施した(表 4)。

* (地独) 青森県産業技術センター内水面研究所

表 1 講義内容

午 前※		午 後		
月 日	内 容	内 容		講 師
5月15日	方位	増養殖研究所の概要	増養殖研究所	尾坂研究調整監
5月19日	コンパスカードの読み方	陸奥湾海況自動観測システム	増養殖研究所	兜森研究管理員
5月20日	天気図からみた今日の天気の変化	ホタテガイの貝毒	増養殖研究所	高坂主任研究員
5月21日	漁業の違いによる漁船の型	海洋観測	増養殖研究所	小泉技師
5月22日	船体各部の名称(和船)、方位、天気図			
5月26日	方位、風向、流向、船体各部名称	ホタテの体を知って養殖をしよう	増養殖研究所	工藤ほたて貝部長
5月27日	漁業管理の概要	青森県は水産資源の宝庫	増養殖研究所	尾坂研究調整監
5月28日	船のトン数の表し方	栽培漁業	増養殖研究所	吉田魚類部長
5月29日	イカ釣り漁船・漁法の概要	陸奥湾の海況	増養殖研究所	兜森研究管理員
6月2日	操船①			
6月3日	まき網漁船・漁法の概要	水産物の流通	増養殖研究所	廣田技師
6月4日	漁業の仕組み	魚の体	増養殖研究所	上原子浅海環境部長
6月9日		漁港漁場の整備	漁港漁場整備課	吉崎技師
6月10日	漁船の登録番号	資源管理	水産振興課	田中技師
6月11日	操船②	ロープ類の知識①	増養殖研究所	吉田研究管理員
6月16日	操船③	磯根資源の増殖	増養殖研究所	桐原磯根資源部長
6月17日		漁業士会の活動等	青森県漁業士会	山下会長
6月18日	船が浮かぶ理由・沈む理由	決め手は青森県産	総合販売戦略課	涌坪主幹
6月19日		ホタテラバ調査等	増養殖研究所	山内主任研究員ほか
6月23日	船のバランス	漁業制度の概要	水産振興課	高林漁業管理GL
6月24日		担い手育成	水産振興課	三戸企画・普及GL
6月25日		これからの漁業について考えよう	水産総合研究センター	金田一資源開発部長
6月26日		漁協の現状と問題点	水産振興課	小中水産経営GL
6月30日	第58寿和丸の転覆事故	ヒラメ・ミズゴコ・キアンコウなどの生態と資源管理	水産総合研究センター	野呂漁場環境部長
7月2日		航海計器(コンパス)	増養殖研究所	小笠原技師
7月3日		大型クラゲによる漁業被害と対策	増養殖研究所	尾坂研究調整監
7月7日	離岸・着岸	青森県海面漁業調整規則	増養殖研究所	上原子浅海環境部長
7月8日		むつ湾におけるホタテガイ養殖付着物	増養殖研究所	吉田主任研究員
7月9日	職業としての漁業①	ロープ類の知識②	増養殖研究所	吉田研究管理員
7月14日	行会い・横切り船の航法	地域資源の利用と加工	ふるさと食品研究センター	永峰次長
7月15日		ホタテガイ漁業	水産振興課	伊藤主査
7月16日	職業としての漁業②	栽培漁業	水産振興課	奈良主幹
7月17日		天気図の見方	増養殖研究所	吉田研究管理員
7月22日	小型船舶の運航	海図・GPS	増養殖研究所	小笠原技師
7月24日	職業としての漁業③			
7月31日		海難事故の防止	青森海上保安部	警備救難課職員

※講師は賓陽塾担当職員が交代で実施

表 2 実習内容

期 間	ロープワーク	漁 業	船舶運航・その他
5月15日～5月30日	基本的な結び方、石からめ 三撚りロープさつま加工	籠・さし網	操船 航海計器
6月2日～6月30日	各種ロープ(三撚り、クロス、サザンクロス) さつま加工	籠・さし網	操船 航海計器
7月1日～7月30日	各種ロープ(クロス、ワイヤー) さつま加工 網補修、結索標本	釣り	水中カメラによる養殖施設の観察 船体整備

表 3 視察研修

月 日	視察研修先
5月16日	八食センター、八戸漁業用海岸局、青森県栽培漁業振興協会
5月30日	青森市水産指導センター、ほたて広場、青森県漁連平内加工場
6月13日	青森県漁業士会むつ支部三の市、下北ブランド研究開発センター
6月27日	水産総合研究センター試験船「青鵬丸」、青森県栽培漁業振興協会日本海事業所、鱈ヶ沢町アユ・イトウ養殖施設
7月18日	竜飛ひらめ養殖生産組合、三厩村漁協荷捌き所、竜飛今別漁協直売センター

表 4 資格取得講習

資格取得講習	開講期間	開催場所	受講者数	合格者数	備 考
二級小型船舶操縦士	9月3日～9月7日	増養殖研究所	8	8	賓陽塾受講生 6名 一般漁業者 2名

通常研修実施状況



講義(ほたての体を知って養殖しよう)



網補修技術

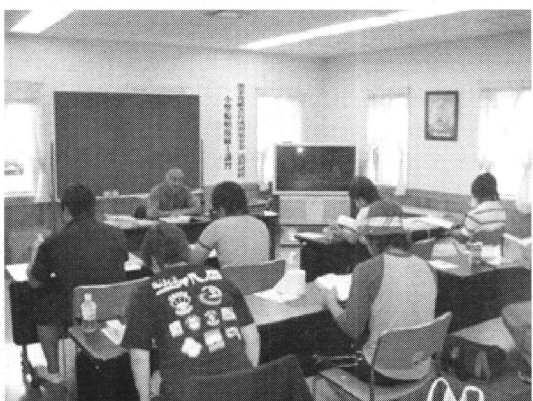


籠漁業実習

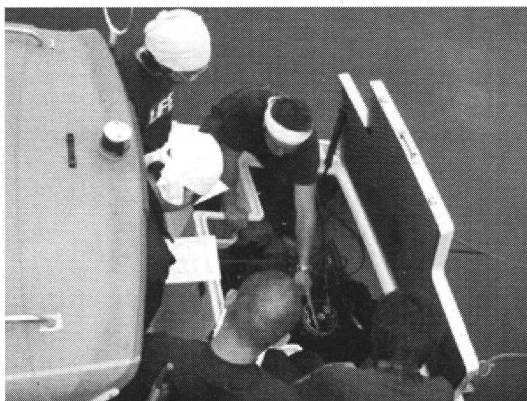


鯡ヶ沢町アユ・イトウ施設視察

選択研修実施状況



二級小型船舶操縦士資格取得講習(学科)



二級小型船舶操縦士資格取得講習(実技)